

【米田主宰の俳句】

花の雲

米田規子

どうしても足りない時間亀鳴けり  
曇天のもやもや四月人が湧き  
元気かと問われチューリップの黄色  
連弾の低音響き花の冷  
いちにちのほんのひととき蕨餅  
決断と迷い交錯花の雲  
しめきりは門限に似て夜の桜  
一年後さくらの終わるころがいい  
晩年暮色かなたから母のこえ  
若楓日ごとに変わる風の色